



11月 町屋幼稚園だより

令和6年10月31日

荒川区立町屋幼稚園

園長 関川 浩

すすんで遊ぶことの大切さ

園長 関川 浩

暑い日差しが降り注いでいた季節が去り、ずいぶんと過ごしやすい毎日となりました。いつも園の教育活動に深いご理解とご協力をいただきありがとうございます。

日常的に子どもたちとふれあうことが多い私ですが、その成長の度合いに驚かされることがたくさんあります。運動会では年長いるか組のリレーで、走る順番を話し合っている姿がありました。また園室でのおたすけじゃんけんでも話し合う場面を見かけました。年少ひよこ組は小学生との「フルーツバスケット」遊びのルールを少しずつ理解しながら楽しんで遊んでいました。子どもに「壁」や「抵抗」の場をうまく設定するとそれを乗り越えようとする力が自然と湧いてくるように思います。その場づくりに教職員は真剣に取り組んでいます。よく「主体的」という言葉を私たちは使います。咀嚼すると「すすんで」ということだと思います。これからも子どもたちの成長を願いながら教育活動を進めてまいります。

《今月のねらい》

- 【年 少】 ○友達や教師と一緒に、好きな遊びやごっこ遊びなどを楽しむ。
○秋の自然に触れ、親しんだり遊びに取り入れたりする。
- 【年 長】 ○友達と考えを出し合い、共通の目的に向かって遊びや活動を進めていく楽しさを味わう。
○秋から冬への自然の変化にふれ、工夫したり試したりして遊びに取り入れることを楽しむ。

いろいろな人との関わりを楽しみながら…

子どもたちは様々な人と関わりながら成長していきます。10月は、学校パワーアップ事業でお招きした講師の先生と一緒に運動遊びを楽しみました。大学の学生さんたちも参加してくださり、子どもたちは思い切り身体を動かして遊ぶ楽しさを感じていたようです。また、第七峡田小学校の「ななはけミッションツアー」に参加させてもらったり、年長いるか組の子どもたちは1年生と一緒に給食体験をしたりして、小学生からもたくさんの刺激を受けています。5年生は幼稚園の体力測定を手伝ってくれました。いろいろな人とのあたたかい関わりを通して、人と関わる喜びや楽しさをたくさん経験してほしいと願っています。

講師の先生と一緒に運動遊び



小学生と一緒に楽しみました



運動会ではたくさんのご協力と応援をいただき、ありがとうございました。保護者の皆様や修了児保護のボランティアの皆様に支えていただき、開催することができました。アンケートでは、あたたかいお言葉をたくさんいただきました。子どもたちの成長もたくさん感じていただけたことも嬉しく思っています。課題や反省は来年度に生かしていきます。ありがとうございました。